

ゼミの活動内容の紹介

経済・経営学科 **経済分析系** 准教授

藤井秀道

hidemichifujii[at]econ.kyushu-u.ac.jp

研究室：イースト2号館 E-527

自己紹介

- 名前: 藤井秀道 (FUJII HIDEMICHI)
- 出身地: 福岡県(筑後市)
- (福岡⇒北海道⇒千葉⇒長崎⇒福岡⇒広島⇒米国[テキサス州]
⇒宮城⇒神奈川⇒長崎⇒福岡)
- 1982年生まれ、36歳
- 担当授業: 現代日本経済論
- 研究分野: 企業の環境経営、環境と経済の両立
- 趣味: テニス、サッカー・野球観戦
- 前職は長崎大学、(株)富士通研究所に所属

ゼミの基本情報

- 藤井秀道ゼミ(2018年4月より開始)に所属する学生
 - 大学院生が1名、四年生が1名、三年生が4名
 - 大学院生、3年生、4年生で合同でゼミを行う
 - 植物の遺伝資源を活用した医薬品の研究開発戦略分析
 - 国内市場におけるサイバー保険の現状と課題
 - 電気自動車の購買行動に関する要因分析
- 履修条件: 環境問題に対して興味・関心を持つ学生
- 卒業論文(ゼミ論文): 課します
- 平素の成績で評価します。
 - 特にゼミでの発表内容・質疑応答を重視します。

藤井秀道ゼミの研究キーワード

- 環境保全と経済発展の両立
- 持続可能な開発目標(SDGs)
- 再生可能エネルギー、化石燃料、水資源

環境

- 環境経営、ESG経営
- 生産性分析

企業

- 環境イノベーション(技術革新)
- 第四次産業革命(A.I., IoT, BigData)

技術

世界経済に影響を与えるリスク

発生の可能性が高い
リスクの上位10位

確率

- 1 異常気象
- 2 自然災害
- 3 サイバー攻撃
- 4 データの不正利用または窃盗
- 5 気候変動の緩和や適応への失敗
- 6 大規模な非自発的移住
- 7 人為的な環境災害
- 8 テロ攻撃
- 9 不正な資金の流れ
- 10 資産バブル

影響が大きい
リスクの上位10位

影響度

- 1 大量破壊兵器
- 2 異常気象
- 3 自然災害
- 4 気候変動の緩和や適応への失敗
- 5 水危機
- 6 サイバー攻撃
- 7 食糧危機
- 8 生物多様性の喪失、絶滅と生態系の崩壊
- 9 大規模な非自発的移住
- 10 感染症の広がり

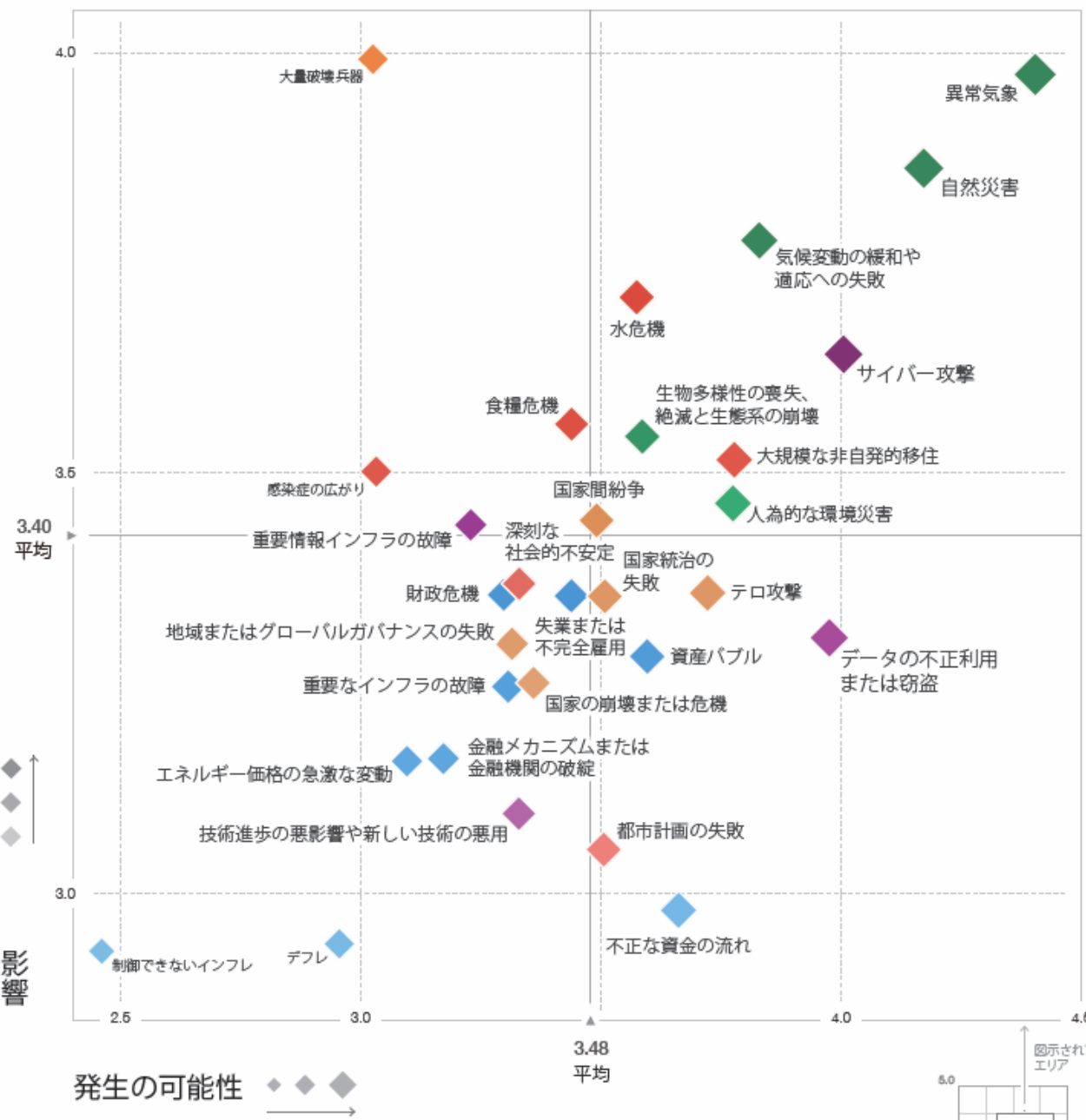


カテゴリー

- ◆ 経済
- ◆ 環境
- ◆ 地政学
- ◆ 社会
- ◆ テクノロジー

大企業の経営者などがアンケートに回答した結果から評価。
異常気象、自然災害、気候変動は**確率も影響度も高い**。

世界経済への影響(横軸が確率、縦軸が影響度)



環境問題は、確率も影響度も高い傾向にある。



環境を守ることは経済の安定的な成長に貢献する。

世界経済のリスクを下げるためにも、積極的な環境保全活動が大事。

出典: World Economic Forum(2018) グローバルリスク報告書2018年版

藤井研究室では、企業の環境保全を目的とした取り組みや、環境保全に関するビジネスの動向に焦点を当て、環境負荷削減と経済的発展の両立を達成するために必要な政策・制度についての研究を行っています。

その理由は、『**環境保全に取り組むことで企業が利益を得る**』という構造を作ることが出来れば、**環境保護に消極的な途上国の企業**に対して、**積極的に環境経営に取り組むための動機**を与えることが出来るからです！

環境ビジネスの研究について

環境ビジネス市場が拡大している先進国では、どのような過程で市場が成熟してきたかを分析し、成熟に貢献した要因を研究します。さらに途上国へ環境ビジネスを普及させるために必要な要因・政策は何であるかを分析しています。

テーマ1: 環境保全と経済発展

テーマ2: 再生可能エネルギー

テーマ3: 次世代自動車市場

環境経営論の研究について

企業が環境保全を行うインセンティブに着目した分析を行います。分析結果を活用することで、企業が環境経営に取り組みやすい状況を明らかにし、その状況に近づけるための政策を提案します。

テーマ1: ESG経営とSDGs

テーマ2: 環境規制と技術開発

テーマ3: 社会的責任投資(SRI)

研究テーマの設定について

• 幅広い分野での研究活動実績

– 過去の卒業生の研究テーマ

- 低公害車普及に向けた自動車企業の取り組みと環境政策の影響
- 企業の倫理的行動に関する指標の比較研究
- 企業の環境保全活動と利益向上の両立可能性について:トイレットリー業界の事例
- 長崎市における猫観光の可能性
- 日本における電力小売全面自由化に向けた動向と展望
- モーダルシフトの現状と課題～特定荷主企業に関する研究～
- 環境配慮型合成樹脂製品の普及に向けた課題と今後の展望
- 第四次産業革命における自動車製造業の研究開発戦略
- ゼロエネルギーハウスの普及促進に向けた今後の展望と課題
- 建設業界におけるESG経営の比較分析

多くの学生が進路に関連した研究テーマを設定している。
⇒高いモチベーションで研究活動を進めることが期待できる。